



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月30日

上場会社名 株式会社 東海理化電機製作所
 コード番号 6995 URL <http://www.tokai-rika.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三浦 憲二

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 籠橋 榮治

TEL 0587-95-5211

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	379,447	0.9	18,590	15.4	20,580	12.2	14,357	18.1
2019年3月期第3四半期	376,190	5.8	21,964	3.3	23,446	3.3	12,153	13.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 15,025百万円 (51.0%) 2019年3月期第3四半期 9,951百万円 (53.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	157.34	
2019年3月期第3四半期	133.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	388,764	250,203	61.0
2019年3月期	387,556	241,435	59.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 237,192百万円 2019年3月期 228,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		32.00		32.00	64.00
2020年3月期		32.00			
2020年3月期(予想)				32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	505,000	0.5	25,000	15.6	27,000	10.3	19,500	7.8	213.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	94,234,171 株	2019年3月期	94,234,171 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,984,471 株	2019年3月期	2,984,323 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	91,249,787 株	2019年3月期3Q	91,249,926 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.2019年10月30日に公表した連結業績予想は、当第3四半期連結会計期間において、通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7
(四半期連結損益計算書関係)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は379,447百万円と、前年同四半期に比べ3,257百万円(0.9%)の増収となりました。利益につきましては、連結営業利益は18,590百万円と、前年同四半期に比べ3,374百万円(△15.4%)の減益となりました。連結経常利益は20,580百万円と、前年同四半期に比べ2,866百万円(△12.2%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は14,357百万円と、前年同四半期に比べ2,204百万円(18.1%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

客先生産台数の増加や新型車種への拡販などにより、売上高は229,954百万円と、前年同四半期に比べ3,837百万円(1.7%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加や合理化努力があったものの、研究開発費の増加や円高の影響などにより5,180百万円と、前年同四半期に比べ745百万円(△12.6%)の減益となりました。

(北米)

米国における収益認識基準が変更になったことなどにより、売上高は76,526百万円と、前年同四半期に比べ2,862百万円(△3.6%)の減収となりました。営業利益は、売価変動の影響などにより687百万円と、前年同四半期に比べ646百万円(△48.5%)の減益となりました。

(アジア)

中国での客先生産台数の増加などにより、売上高は103,690百万円と、前年同四半期に比べ3,607百万円(3.6%)の増収となりました。営業利益は、売上高の増加や合理化努力があったものの、売価変動の影響などにより11,174百万円と、前年同四半期に比べ2,158百万円(△16.2%)の減益となりました。

(その他)

売上高は23,165百万円と、前年同四半期に比べ421百万円(△1.8%)の減収となりました。営業利益は、1,395百万円と、前年同四半期に比べ32百万円(△2.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び投資有価証券の増加により388,764百万円と、前連結会計年度末に比べ、1,208百万円増加いたしました。負債は賞与引当金の取り崩しなどにより138,561百万円と、前連結会計年度末に比べ、7,560百万円減少いたしました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により250,203百万円と、前連結会計年度末に比べ、8,768百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年10月30日決算発表時の公表値を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,698	68,009
受取手形及び売掛金	65,608	57,776
電子記録債権	15,861	15,105
有価証券	11,606	1,501
商品及び製品	15,933	15,789
仕掛品	22,536	23,626
原材料及び貯蔵品	6,723	6,800
その他	11,355	10,116
貸倒引当金	△58	△61
流動資産合計	210,265	198,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,307	34,391
機械装置及び運搬具(純額)	33,336	35,159
その他(純額)	30,303	30,930
有形固定資産合計	98,947	100,481
無形固定資産	2,269	2,103
投資その他の資産		
投資有価証券	29,901	40,679
その他	46,285	46,941
貸倒引当金	△112	△106
投資その他の資産合計	76,074	87,514
固定資産合計	177,291	190,099
資産合計	387,556	388,764

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,247	37,818
電子記録債務	10,982	11,435
短期借入金	297	—
未払法人税等	3,243	3,160
賞与引当金	8,756	4,942
製品保証引当金	10,105	7,950
その他の引当金	283	217
その他	34,464	35,382
流動負債合計	109,381	100,908
固定負債		
社債	10,000	10,000
役員退職慰労引当金	343	304
退職給付に係る負債	25,054	25,652
資産除去債務	121	121
その他	1,219	1,573
固定負債合計	36,739	37,652
負債合計	146,121	138,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,856	22,856
資本剰余金	25,864	25,864
利益剰余金	181,796	190,313
自己株式	△5,369	△5,369
株主資本合計	225,147	233,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,889	3,984
為替換算調整勘定	△279	△1,219
退職給付に係る調整累計額	1,077	763
その他の包括利益累計額合計	3,687	3,527
非支配株主持分	12,600	13,011
純資産合計	241,435	250,203
負債純資産合計	387,556	388,764

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	376,190	379,447
売上原価	322,921	328,952
売上総利益	53,269	50,495
販売費及び一般管理費	31,304	31,904
営業利益	21,964	18,590
営業外収益		
受取利息	324	370
受取配当金	444	443
持分法による投資利益	369	139
その他	512	1,458
営業外収益合計	1,651	2,411
営業外費用		
支払利息	65	55
為替差損	26	209
その他	76	157
営業外費用合計	169	421
経常利益	23,446	20,580
特別損失		
減損損失	※ 3,738	—
特別損失合計	3,738	—
税金等調整前四半期純利益	19,708	20,580
法人税等	6,667	5,349
四半期純利益	13,041	15,230
非支配株主に帰属する四半期純利益	888	873
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,153	14,357

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	13,041	15,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,025	1,116
為替換算調整勘定	△736	△956
退職給付に係る調整額	△234	△317
持分法適用会社に対する持分相当額	△93	△48
その他の包括利益合計	△3,090	△205
四半期包括利益	9,951	15,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,077	14,197
非支配株主に係る四半期包括利益	874	827

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(1) 「リース」(IFRS第16号)

国際財務報告基準を適用する在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」(2016年1月13日)を、第1四半期連結会計期間より適用しております。

当会計基準の適用によりリースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産及び負債を認識すること等を要求されており、適用にあたっては遡及修正による累積的影響額を適用開始日時点で認識する方法に従っております。

これによる当第3四半期連結会計期間末日の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(2) 「顧客との契約から生じる収益」(ASU第2014-09号)

米国会計基準を適用する在外連結子会社において、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」(2014年5月28日)を、第1四半期連結会計期間より適用しております。

当会計基準の適用により、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識することが求められております。

当会計基準の適用による当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は以下のとおりであります。

買戻し契約に該当する有償支給取引について、第1四半期連結会計期間より加工代相当額のみを純額で収益として表示しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が1,402百万円減少しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

場所	用途	種類	金額
日本	生産設備	機械装置及び運搬具 その他	3,738百万円

当社グループの減損会計適用にあたっての資産グルーピングは、原則として継続的に損益の把握を実施している管理会計上の単位である事業部別に行っております。なお、連結子会社については、主に会社単位を基準としてグルーピングを行っております。

当第3四半期連結累計期間において、市場環境等の悪化により一部の生産設備について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に3,738百万円計上しております。

その内訳は、機械装置及び運搬具2,871百万円、その他866百万円であります。なお、当資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	186,209	79,018	87,581	352,808	23,381	376,190	-	376,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,907	369	12,502	52,780	204	52,985	△52,985	-
計	226,117	79,388	100,083	405,589	23,586	429,175	△52,985	376,190
セグメント利益	5,925	1,333	13,332	20,591	1,427	22,019	△54	21,964

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△54百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

日本セグメントにおいて、一部の事業環境は厳しく、生産設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において3,738百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	北米	アジア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	191,761	76,081	88,642	356,485	22,962	379,447	-	379,447
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38,192	445	15,048	53,686	203	53,890	△53,890	-
計	229,954	76,526	103,690	410,172	23,165	433,337	△53,890	379,447
セグメント利益	5,180	687	11,174	17,041	1,395	18,437	153	18,590

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州及び南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額153百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 「(会計方針の変更)」に記載のとおり第1四半期連結会計期間より「顧客との契約から生じる収益」(ASU第2014-09号)を適用しております。

この結果、従来の方によった場合と比べて、北米の売上高は、1,402百万円減少しております。